

【様式 1】

食育月間の取組①

提出都道府県名 政令指定都市名	岩手県
取組市町村名 取組団体・企業名	盛岡市（公民館）
取組の名称	平成 30 年度盛岡市河南公民館地域連携講座 「ぶちょうほまんじゅうってなんだろう？」の開催
実施時期	平成 30 年 6 月 16 日（土）
取組内容	<p>目的：本講座では、6 月 16 日が和菓子の日と制定されていることから、古くから親しまれている郷土菓子にスポットを当て、河南地区の老舗菓子店や各地区に所属する盛岡市食生活改善推進員と協働で、盛岡の食文化について理解を深め、古くから伝承されているこの土地ならではの食育について学ぶことを目的として、開催しました。</p> <p>参加人数：40 代から 70 代までの市民 10 名</p> <p>実施内容：第 1 部では、盛岡の老舗菓子店の店主を講師に、盛岡の菓子店の変遷や時代と共に変わっていく街との共存、盛岡の名物となった「ぶちょうほまんじゅう」の誕生話などを、ぶちょうほまんじゅうを味わいながらお聞きしました。</p> <p>第 2 部では、盛岡市食生活改善推進員大慈寺地区の方々を講師に、がんばつきと繫地区のお菓子であるあんこ煎餅を、今後、家族や友人と地元のお菓子を気軽に食べられるよう簡単にアレンジしたレシピで製作体験をしました。</p> <p>本講座は昨年の「盛岡駄菓子ってなんだろう？」に続く、地元の食文化に焦点を当てた講座シリーズの第 2 弾として企画したものです。普段公民館の利用が少ない 40 代 50 代の就労層や昨年が続いての参加者もあり、地元文化への関心の高さが伺えました。</p> <p>第 1 部で、講師を務めた 80 歳の菓子店店主の後継者がいないとの話に対して、参加者から技の継承を望む声があがりました。また、昔は家庭でよく作られていた郷土菓子が洋菓子の普及などで廃れてきており、本講座をとおして少しでも地元文化の発信者や継承者が出てくればという意見も出されました。</p> <p>URL：http://www.mfca.jp/morigeki/workshop</p>
	  

食育月間の取組②

提出都道府県名 政令指定都市名	岩手県
取組市町村名 取組団体・企業名	大船渡市立綾里小学校 大船渡市立綾里学校給食共同調理場
取組の名称	大豆はかせになろう
実施時期	6月28日(木)
取組内容	<p>普段から多く食べられている大豆に関心を持ち、大豆の栄養や加工方法について理解を深め、自分たちの生活に欠かすことのできない食品であることに気づくことを目的に行いました。</p> <p>小学3年生の児童(12名)を対象に行い、大豆の栄養や大豆の加工法について理解を深め、自分たちの成長や健康に深く関わっていることを知ることができました。</p> <p>また、「食の専門家」として、栄養教諭が大豆の栄養や大豆の加工方法について児童に解説することで理解を深めていました。</p> <p>さらに、本校の食育活動の「カミカミ運動」についても大豆について学ぶ授業の中に盛り込み指導を行いました。</p>
	

【様式1】

食育月間の取組③

提出都道府県名 政令指定都市名	岩手県
取組市町村名 取組団体・企業名	岩手郡葛巻町
取組の名称	減塩・適塩の普及啓発事業（JRバス・まちの駅くずまき）
実施時期	平成30年6月15日
取組内容	<p>1、目的</p> <p>平成27年度岩手県では、脳卒中予防対策として毎月28日を「いわて減塩・適塩の日」と決めました。町食生活改善推進員協議会でも、平成26年度家庭塩分調査をもとに、地域において「減塩・適塩」の普及啓発を行っており、更に活動の強化を図り、減塩・適塩の実践化と定着のために住民の健康づくりに寄与することを目的として実施します。</p> <p>2、実施主体 町食生活改善推進員協議会・町健康福祉課</p> <p>3、実施日時 平成30年4月～平成31年3月までの月1回 10:00～11:30 ※6月は6月15日開催</p> <p>4、実施場所 JRバス・まちの駅くずまき待合室及び室外</p> <p>5、取組内容</p> <p>①「いわて減塩・適塩の日」の旗を掲げ、減塩・適塩習慣定着のための普及啓発活動</p> <p>②健康レシピ集（平成27年度食生活改善推進員協議会発行）の中から料理1品の試食提供※6/15「こんにゃくとゆで豚の香味ソース」</p> <p>6、試食提供者数 約40名</p> <p>7、その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自殺予防活動地域サポーター「みんなの話」活動のおしゃべりサロンと同日開催として協力して行います。
	 